OKI

MICROLINE Pro930PS　ユーザーズマニュアル

セットアップ編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

MICROLINE Pro930PS-X
MICROLINE Pro930PS-S
MICROLINE Pro930PS-E

◯ このマニュアルには、製品を安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
　ご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みになり、正しく安全にご使用ください。
◯ 本マニュアルは、いつでも見られるように大切にお手元に保管してください。

マニュアルの構成

本製品のユーザーズマニュアルは、次のような 4 部構成になっています。目的に応じてお読みください。

プリンタ機能編
プリンタの使い方や持っている機能、消耗品の交換方法、紙づまり等のトラブルの対処方法、オプション類の取り付け方が載っています。

セットアップ編（本書）
Windows、Macintosh、UNIX、Linux のコンピュータから印刷できるようにするまでの手順が載っています。
プリンタの設置が終わったら、お読みください。

応用編
色々な用紙に印刷したい時、便利な機能を使って印刷したい時、添付のユーティリティを使って快適な印刷環境にしたい時、カラーを調整したい時、印刷時にトラブルが起こった時などにお読みください。

Fiery 編
MLPro930PS の高度な設定や管理方法、および、付属のユーティリティの様々な使用方法を説明しています。高度な使い方をしたいときお読みください。

本書の表記

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE Pro 930PS-X → MLPro930PS-X
- MICROLINE Pro 930PS-S → MLPro930PS-S
- MICROLINE Pro 930PS-E → MLPro930PS-E
- MLPro930PS-X、MLPro930PS-S, ML Pro930PS-Eの総称 → MLPro930PS
- Microsoft® Windows® 7 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows 7（64bit版）※
- Microsoft® Windows Server® 2008R2 64-bit Edition operating system 日本語版 →Windows Server 2008R2
- Microsoft® Windows Vista® 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Vista（64bit版）※
- Microsoft® Windows Server® 2008 64-bit Edition operating system 日本語版 →Windows Server 2008（64bit版）※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → Windows XP（x64版）※
- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system 日本語版 →Windows Server 2003（x64版）※
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版 → Windows 7※
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版 → Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → Windows XP ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows 2000
- Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の総称 → Windows
- MacOS 9.2/9.2.1/9.2.2 → MacOS
- Mac OS X 10.3.9 以降 → Mac OS X

※ 特に記載がない場合は、Windows 7とWindows VistaとWindows Server 2008とWindows XPとWindows Server 2003には64bit 版も含みます。また、Windows Server 2008には64bit 版およびWindows Server 2008R2も含みます。

目次

Windowsをお使いの方

Macintosh, UNIX, Linux をお使いの方

Windowsをお使いの方

1 ネットワーク接続でセットアップします

動作環境

● Windows 7/7（64bit版）
Windows 7 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● Windows Server 2008R2
Windows Server 2008R2 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● Windows Vista/Vista（64bit版）
Windows Vista 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● Windows Server 2008/2008（64bit版）
Windows Server 2008 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● Windows XP/XP（x64版）
Windows XP（サービスパック 2 以上）日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● Windows Server 2003/2003（x64版）
Windows Server 2003（サービスパック 1 以上）日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

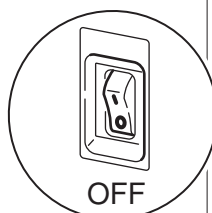
● Windows 2000
Windows 2000（サービスパック 4 以上）日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

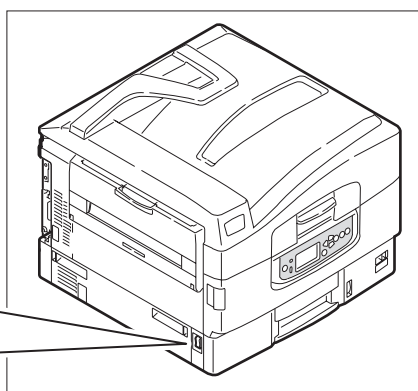
注

- プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。
- Pentium III 1.0GHz 以上、RAM256MB 以上（512MB 以上推奨）、ハードディスクの空き容量 200MB 以上で、Internet Explorer6 以上がインストールされている必要があります。

ケーブルを接続します

注

プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル(カテゴリ5e以上、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈ストレートケーブル〉〈コア〉〈ハブ〉

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

メモ

プリンタの電源の切り方はプリンタ機能編「電源を切る」をご覧ください。

2 プリンタとコンピュータの電源をOFFにします。

注

プリンタとコンピュータの電源は切っておきます。

3 プリンタをネットワークに接続します。

ハブ

ストレート
ケーブル

❶ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

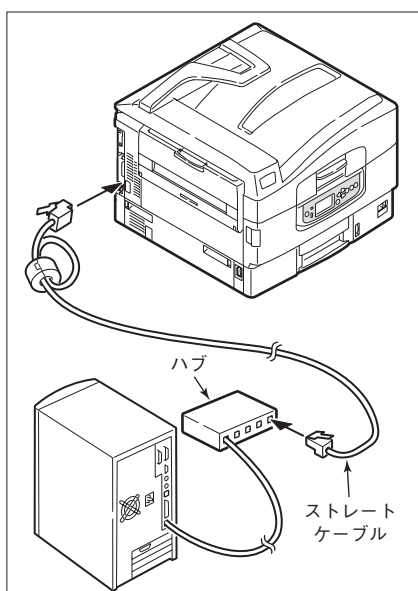
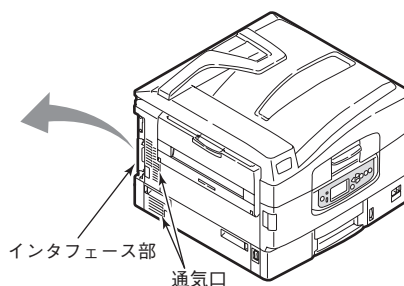
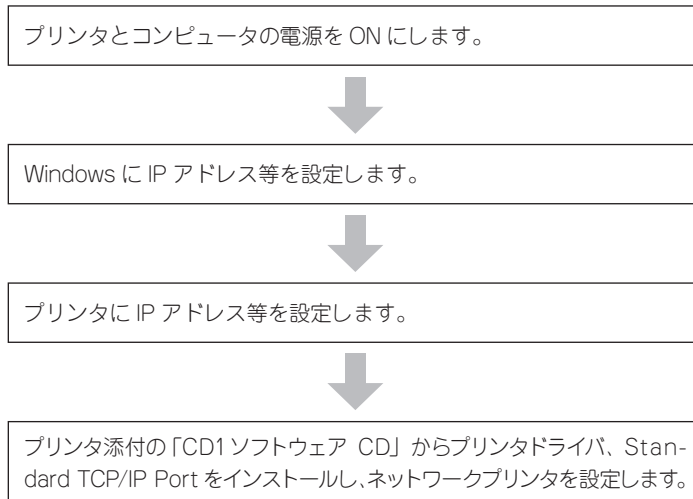
セットアップします

セットアップの流れ

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

Windows に IP アドレス等を設定します。

プリンタに IP アドレス等を設定します。

プリンタ添付の「CD1 ソフトウェア CD」からプリンタドライバ、Standard TCP/IP Port をインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

セットアップします

ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。ネットワーク上に DHCP サーバ、もしくは BOOTP サーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。
また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有の IP アドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。
現在のプリンタに設定されている IP アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報（Network Information）については、プリンタ機能編「プリンタの設定を印刷する」をご覧ください。

- IP アドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりインターネットに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、インターネット接続しているプロバイダに、プリンタに設定できる IP アドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバ（DHCP など）は、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、インターネット接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップには管理者の権限が必要です。
- 「セットアップします」の記述は、特に表記がない限り、Windows Vista での操作方法を記載しています。OS によって画面や操作手順が異なる場合があります。

- プリンタはネットワーク Plug&Play に対応しています。接続しているコンピュータがすべて Windows の場合や、接続しているルータがネットワーク Plug&Play に対応している場合は、ネットワーク上にサーバが存在しなくても自動的に IP アドレスを設定します。コンピュータとプリンタに IP アドレスを手動で設定する必要はありませんので、「手順 4　プリンタドライバをインストールします」(17 ページ) からセットアップしてください。
- コンピュータ 1 台とプリンタ 1 台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください(「RFC1918」による)。

コンピュータ
IP アドレス　: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか
サブネットマスク　: 255.255.255.0
ゲートウェイ　: 0.0.0.0（使用しません）
DNS　: 使用しません

プリンタ
IP アドレス　: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか（コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク　: 255.255.255.0
ゲートウェイ　: 0.0.0.0
DHCP/BOOTP を使用する　: チェックしない
RARP を使用する　: チェックしない
サーバを使用しないアドレス解決　: チェックしない
LAN　: SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows　: Windows Vista Home Premium Edition
プリンタ　: ML Pro 930PS
IP アドレス　: 192.168.0.3（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク　: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス　: 192.168.0.1

1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

2 Windows に IP アドレス等を設定します。

すでに Windows に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 3「プリンタに IP アドレス等を設定します」(13 ページ) へ進みます。

❶ Windows を起動します。

❷ Windows 7/Vista では、［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。

Windows Server 2008R2/Server 2008 では、［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークと共有センター］を選択します。

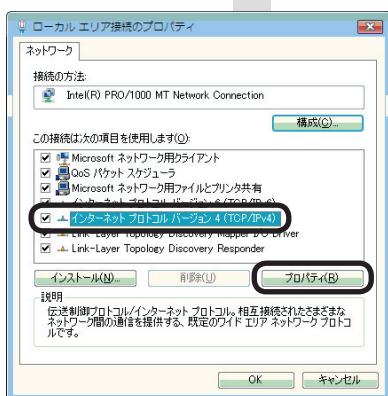
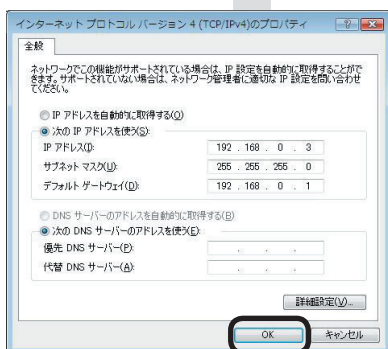
Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークとインターネット接続］-［ネットワーク接続］を選択します。

Windows Server 2003 では、［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］を選択します。

Windows 2000 では、［スタート］-［ 設定］-［ ネットワークとダイアルアップ接続］を選択します。

❸［ネットワーク接続の管理］をクリックします。

Windows XP/2000/Server 2003ではこの手順を行う必要はありません。

❹［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、「ローカルエリア接続の状態」画面の［プロパティ］をクリックします。「ユーザアカウント制御」画面が表示されたら［続行］をクリックします。

❺［インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❻ IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバを入力し、［OK］をクリックします。

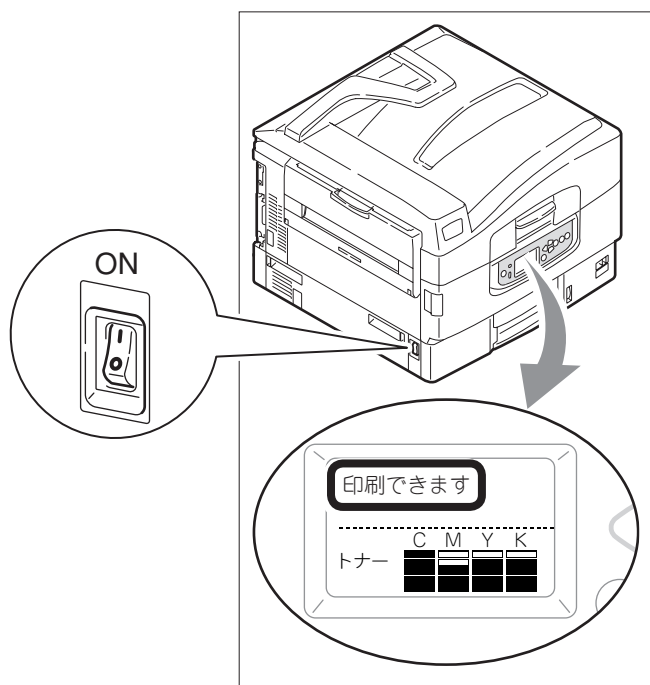
- DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択し、IP アドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、入力しません。

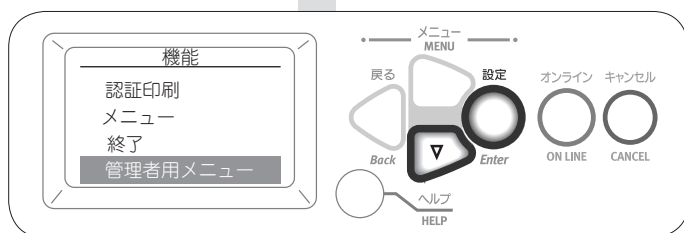
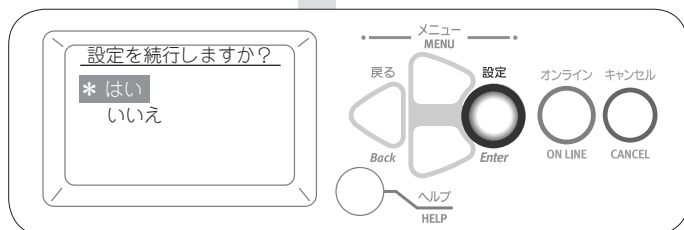
❼［ローカルエリア接続］を閉じます。

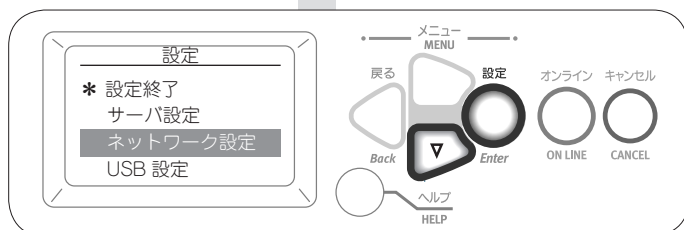
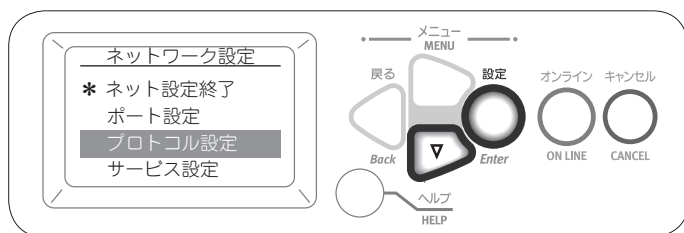
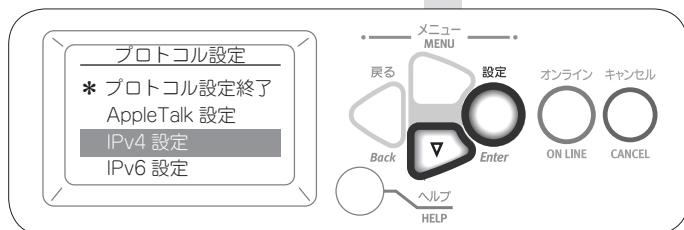
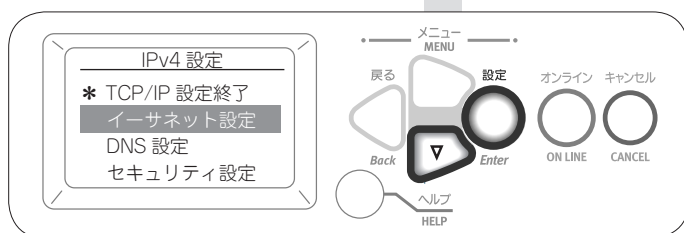
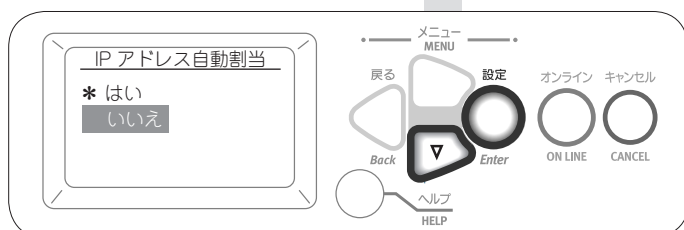
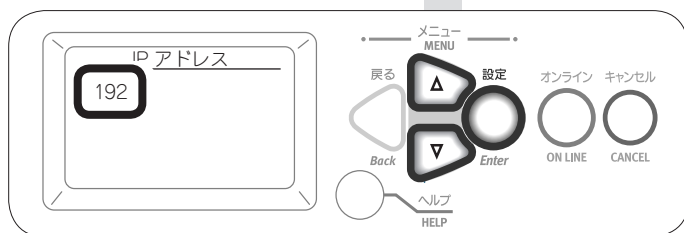
❽［ローカルエリア接続のプロパティ］で［OK］をクリックします。

❾「ローカルエリア接続の状態」画面で［閉じる］をクリックします。

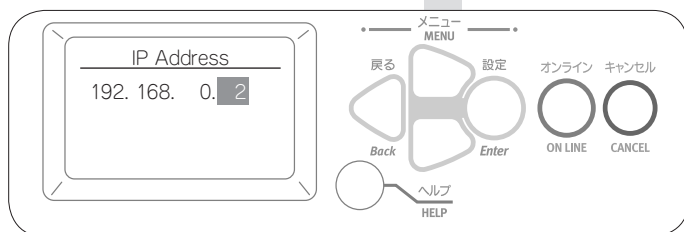
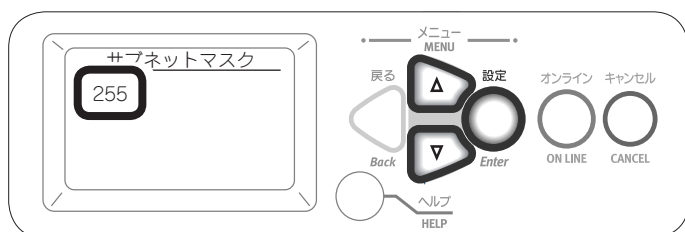
3 プリンタにIPアドレス等を設定します。

メモ　すでにプリンタにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順4「プリンタドライバをインストールします」（17ページ）へ進みます。

❶ 電源スイッチのオン（I）を押します。

❷ 操作パネルに［印刷できます］と表示したことを確認します。

❸ ▽ ボタンを押して［管理者用メニュー］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❹ ［はい］が選択されていることを確認し、◯ 設定ボタンを押します。

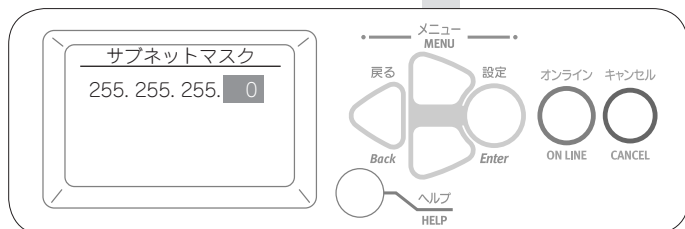
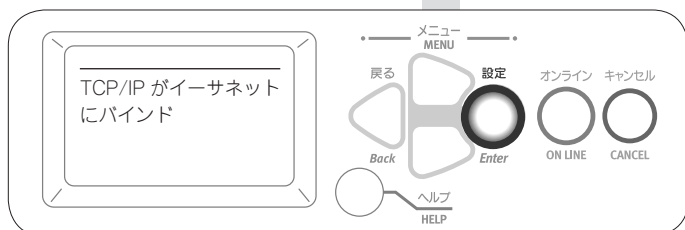
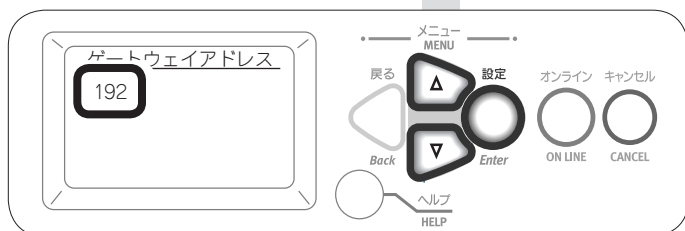
［設定開始中…］→［お待ちください…］と表示します。

❺ ［設定］画面になったら、▽ ボタンを押して［ネットワーク設定］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❻ ▽ ボタンを押して［プロトコル設定］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❼ ▽ ボタンを押して［IPv4 設定］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❽ ▽ ボタンを押して［イーサネット設定］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❾ ▽ ボタンを押して［いいえ］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❿ △ ボタンまたは ▽ ボタンを押し、IP アドレスの 1 桁目を表示し、◯ 設定ボタンを押します。

ここでは、192.168.0.2 に設定する場合を例にします。

ボタンを 2 秒以上押すと、早送りします。

⓫ ❿を繰り返し、全ての桁を設定します。

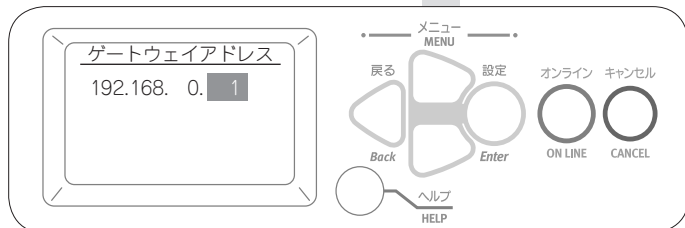
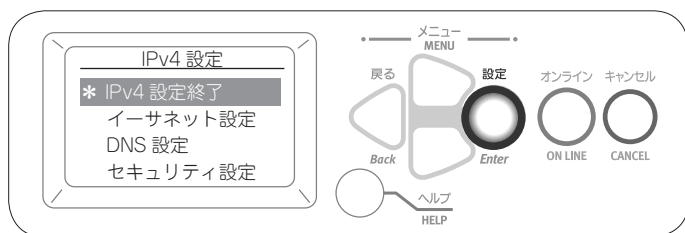
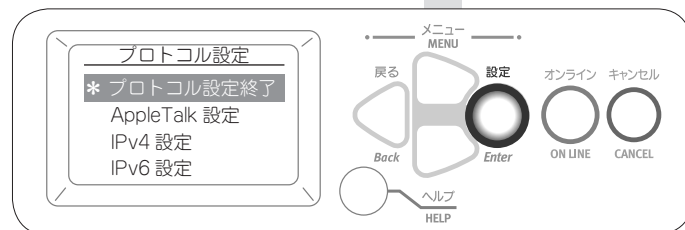
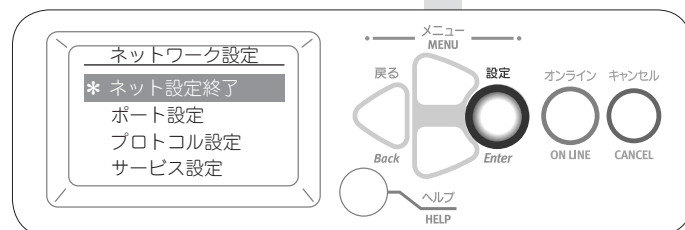
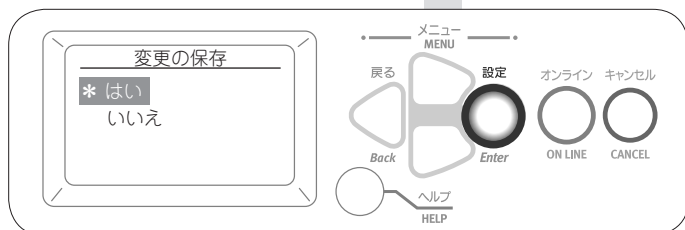
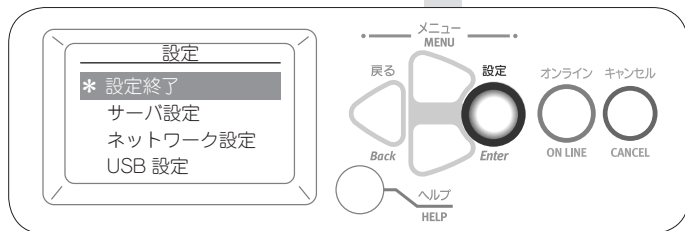
⑫ △ ボタンまたは ▽ ボタンを押し、サブネットマスクの 1 桁目を表示し、◯ 設定ボタンを押します。

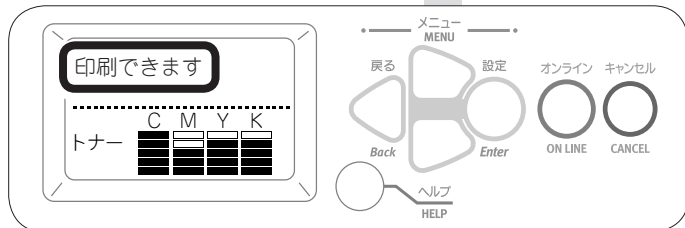
ここでは、255.255.255.0 に設定する場合を例にします。

ボタンを 2 秒以上押すと、早送りします。

⑬ ⑫を繰り返し、全ての桁を設定します。

⑭ ◯ 設定ボタンを押します。

⑮ △ ボタンまたは ▽ ボタンを押し、ゲートウェイアドレスの 1 桁目を表示し、◯ 設定ボタンを押します。

ここでは、192.168.0.1 に設定する場合を例にします。

ボタンを 2 秒以上押すと、早送りします。

⑯ ⑮を繰り返し、全ての桁を設定します。

⑰ [IPv4 設定終了] が選択されていることを確認し、◯ 設定ボタンを押します。

⑱ [プロトコル設定終了] が選択されていることを確認し、◯ 設定ボタンを押します。

⑲ [ネット設定終了] が選択されていることを確認し、◯ 設定ボタンを押します。

⑳ [はい] が選択されていることを確認し、◯ 設定ボタンを押します。

㉑ [設定終了] が選択されていることを確認し、◯ 設定ボタンを押します。

[お待ちください…] → [サーバ再起動中…] → [お待ちください…] → [イニシャル中です] と表示が替わります。

㉒ [印刷できます] と表示されたら完了です。

4 プリンタドライバをインストールします。

❶ プリンタの電源が ON で、Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「CD1 ソフトウェア CD」をセットします。

❷［自動再生］が表示されたら、［Startup.exe の実行］をクリックします。

❸［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

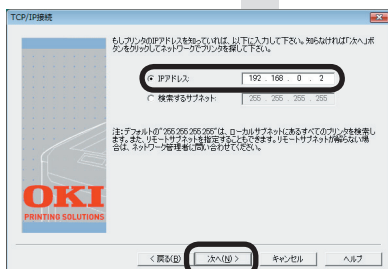
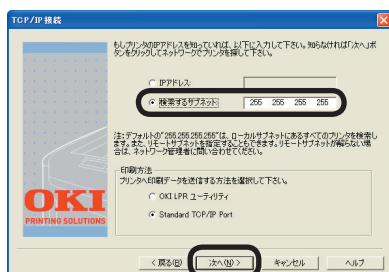
❹「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

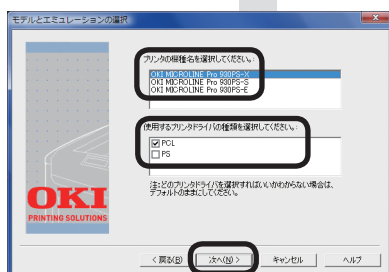
メモ　画面を閉じる場合は、右上の×をクリックします。

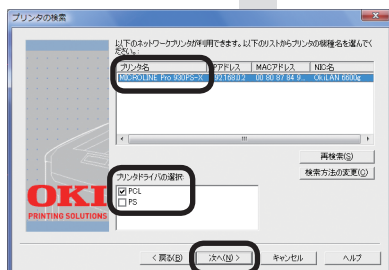
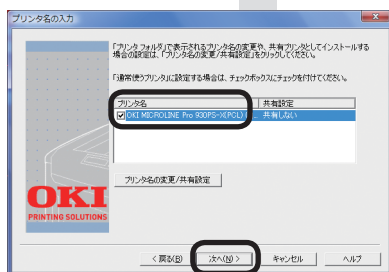
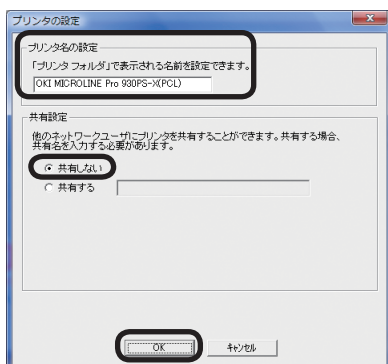
❺［ドライバのインストール］をクリックします。

❻［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❼［TCP/IP プロトコル］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽ 手順 3（13 ページ）で設定したプリンタの IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

プリンタの IP アドレスが自動取得の場合や、IP アドレスがわからない場合は、［検索するサブネット］を選択し、［次へ］をクリックします。

- IP アドレスを自動取得にした場合には、［印刷方法］で OKI LPR ユーティリティを選択してください。
- プリンタドライバインストール後、OKI LPR ユーティリティを起動し、［オプション］-［設定］を選択し、［自動的に IP アドレスを再設定する］をチェックしてください。（詳細はユーザーズマニュアル（応用編）を参照してください。）

❾ 手順❽でプリンタの IP アドレスを入力した場合、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

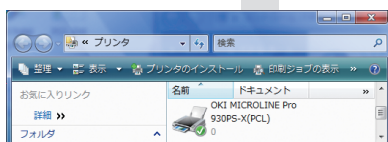
- PS プリンタドライバ、PCL プリンタドライバの 2 種類があります。PCL プリンタドライバは、ビジネス文書の印刷に適しています。PS プリンタドライバは、PostScript フォントや EPS データを含んだ文書の印刷に適しています。
- 複数のプリンタドライバの種類を選択し、同時にインストールすることができます。

手順❽で［検索するサブネット］を選択した場合、検索されたプリンタリスト画面が表示されるので、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

❿ 一覧中のチェックボックスにチェックを付け、［次へ］をクリックします。プリンタ名の変更や、共有設定を行う場合は、［プリンタ名の変更 / 共有設定］をクリックします。

⑪ プリンタ名を入力し、［共有しない］を選択し、［OK］をクリックします。

⑫ プリンタドライバと Standard TCP/IP と Network Extension と色見本印刷ユーティリティがインストールされます。

「Windows セキュリティ」画面が表示されたら、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

Windows XP/Server 2003 の場合に、「ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら？

☞ ⑮へ進みます。

⑬「インストールの完了」の画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

⑭ Windows 7/Server 2008R2 では、［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。

Windows Vista/Server 2008 では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。

Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。

Windows Server 2003 では、［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。

Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

メモ　複数のプリンタドライバをインストールした場合は、インストールした数だけのプリンタアイコンが追加されます。

☞ ⑫からの続き

⑮［再起動する］を選択し、［完了］をクリックします。

Windows が再起動されます。

⑯ Windows が完全に起動したら、⑬に戻ります。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- LINK 100M ランプ(緑)/LINK 10M ランプ(緑)を確認します。100BASE-TX/10BASE-T で接続している場合にそれぞれ点灯します。(1000BASE-T で接続している場合には、両方とも点灯します)点灯しない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUS ランプ(橙)を確認します。データを受信しているときに点滅します。「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブの LINK ランプが点灯しません。
- Ping に応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源が ON になっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源を ON にします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源を ON にするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「ハブとの接続」を「10BASE-T HALF」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ 電源スイッチのオン(I)を押します。

❷ 操作パネルに[印刷できます]と表示したことを確認します。

❸ ▽ ボタンを数回押し、[管理者用メニュー]を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

パスワードを要求されたら、△ ボタンまたは ▽ ボタンで 1 桁目の英数字を選択し、◯ 設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。

最後に ◯ 設定ボタンを押します。

❹ △ ボタンまたは ▽ ボタンを押して[ネットワーク設定]を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❺ ▽ ボタンを数回押して[ハブとの接続]を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❻[10Base-T Half]を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❼ ◯ オンラインボタンを押します。

[印刷できます]と表示されたら完了です。

- ハブの動作モード(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、全二重 / 半二重)を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。(設定方法はハブに付属のマニュアルをご覧ください。)

それでも問題が解決しない場合

- Windows 7/Vista では、[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークの状態とタスクの表示] - [ネットワーク接続の管理] を選択します。
  (Windows Server 2008R2/Server 2008 では、[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークと共有センター] - [ネットワーク接続の管理] を選択します。Windows XP では [スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット接続] - [ネットワーク接続] を選択します。Windows Server 2003 では [スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワーク接続] を選択します。Windows 2000 では [スタート]-[設定]-[ネットワークとダイアルアップ接続] を選択します。)
  [ローカルエリア接続] をダブルクリックし、[プロパティ] に [インターネットプロトコル (TCP/IP)] が表示されていることを確認します。
- [インターネットプロトコル(TCP/IP)]の[プロパティ]をクリックし、[IP アドレス], [サブネットマスク], [デフォルトゲートウェイ]が正しいことを確認します。
- セットアップ時に IP アドレスでプリンタを指定した場合は、各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これは Windows の仕様によるものです。
- Windows XP/Server 2003 では、[プリンタと FAX](Windows 7/Vista/Server 2008R2/Server 2008/2000 は[プリンタ])フォルダから、[OKI MICROLINE 930PS (PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択し、[ポート]タブの [ポートの構成]をクリックして [プリンタ名または IP アドレス] が、プリンタの IP アドレスと一致しているか確認します。
- 「OKI LPR ユーティリティ」画面で、[使用しているプリンタ] を選択してから [リモートプリントメニュー] - [プリンタの再設定] を選択し、[IP アドレス] がプリンタの IP アドレスと一致しているか確認します。

  OKI LPR ユーティリティの最新版は沖データホームページ(http://www.okidata.co.jp/)で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦"OKI LPR ユーティリティを削除"してから最新版をインストールしてください。

- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

[IP アドレス]	Windows	192.168.0.3
	プリンタ	192.168.0.2
[サブネットマスク]	Windows	255.255.255.0
	プリンタ	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	Windows	使用しません
	プリンタ	0.0.0.0

2 USB 接続でセットアップします

動作環境

- Windows 7/7（64bit 版）
  Windows 7 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機で USB インタフェースを搭載している機種
- Windows Server 2008R2
  Windows Server 2008R2 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機で USB インタフェースを搭載している機種
- Windows Vista/Vista (64bit版)
  Windows Vista 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機で USB インタフェースを搭載している機種
- Windows Server 2008/2008 (64bit版)
  Windows Server 2008 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機で USB インタフェースを搭載している機種
- Windows XP/XP (x64 版)
  Windows XP（サービスパック 2 以上）日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種
- Windows Server 2003/2003 (x64版)
  Windows Server 2003（サービスパック 1 以上）日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機で USB インタフェースを搭載している機種
- Windows 2000
  Windows 2000（サービスパック 4 以上）日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

- Pentium III 1.0GHz 以上、RAM256MB 以上（512MB 以上推奨）、ハードディスクの空き容量 200MB 以上で、Internet Explorer6 以上がインストールされている必要があります。
- 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
- 他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、プリンタフォルダに「****」「****（コピー 1)」「****（コピー 2)」(**** はプリンタ機種名）と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- USB ハブを使用する場合は、コンピュータと直接接続された USB ハブに接続してください。
- プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

USB インタフェースケーブルは USB2.0 仕様で長さ 5m 以内（2m 以内を推奨）のものをお使いください。

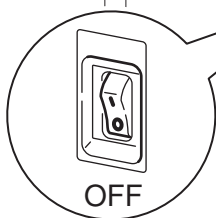
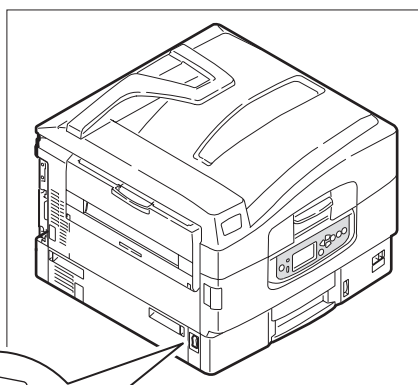
ケーブルを接続します

注

・プリンタのケーブルは添付されていません。USB2.0仕様のケーブルを別途用意してください。
・USB2.0の「Hi-Speed」モードで接続する場合は、Hi-Speed仕様のUSBケーブルを使用してください。

メモ

・プリンタの電源の切り方はプリンタ機能編「電源を切る」をご覧ください。
・USBケーブルはコンピュータ、プリンタの電源がONの状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USBドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源をOFFにしておきます。

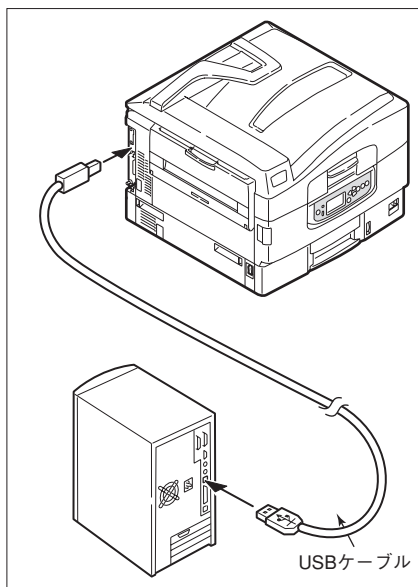
注

プリンタとコンピュータの電源は切っておきます。

注

USBケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

1 USBケーブルを準備します。

2 プリンタとコンピュータの電源をOFFにします。

3 USBケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ USBケーブルをコンピュータのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします

 管理者の権限が必要です。

以下の説明は Windows Vista Home Premium Edition を例にしています。

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

注 プリンタの電源が ON になっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、［キャンセル］をクリックし、プリンタの電源を OFF にしてから次に進んでください。

2 セットアッププログラムを起動します。

❶「CD1 ソフトウェア CD」をコンピュータにセットします。

❷［自動再生］が表示されたら、［Startup.exe の実行］をクリックします。

❸［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

3 プリンタドライバをインストールします。

❶「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

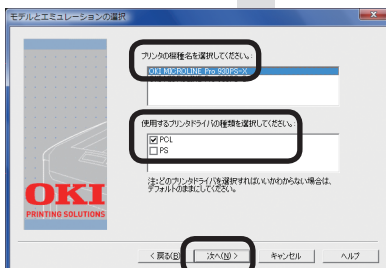
❷［ドライバのインストール］をクリックします。

❸［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

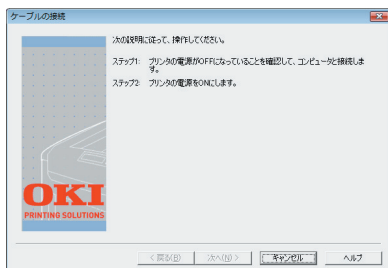
ネットワークで接続する場合は、「ネットワーク接続でセットアップします」（7 ページ）をご覧ください。

❹「ポートの選択」画面で［USB］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

- PS プリンタドライバ、PCL プリンタドライバの 2 種類があります。PCL プリンタドライバは、ビジネス文書の印刷に適しています。PS プリンタドライバは、PostScript フォントや EPS データを含んだ文書の印刷に適しています。
- 複数のプリンタドライバの種類を選択し、同時にインストールすることができます。

ファイルのコピーが行われます。

☞ 手順 4（27 ページ）へ進みます。

4 USB ドライバをインストールします。

❶「ケーブル接続」の画面が表示されたら、画面の指示に従い USB ドライバをインストールします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?
☞ ❹に進みます。

❷「インストール完了」の画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

❸ Windows 7/Server 2008R2 では、［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。

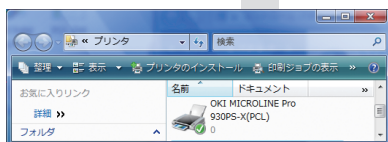
Windows Vista/Server 2008 では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。

Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。

Windows Server 2003 では、［スタート］-［ プリンタと FAX］を選択します。

Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

複数のプリンタドライバをインストールした場合は、インストールした数だけのプリンタアイコンが追加されます。

☞ ❶からの続き

❹［再起動する］を選択し、［完了］をクリックします。

Windows が再起動されます。

❺ Windows が完全に起動したら、❶に戻ります。

セットアップがうまくいかないとき

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されない場合

プリンタドライバが正しくセットアップされていません。再度プリンタドライバのセットアップを行ってください。

詳細は、「セットアップします」(26 ページ)をご覧ください。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。以下の手順に従って設定を確認します。

❶ Windows 7/Server 2008R2 では、[スタート] - [デバイスとプリンター] を選択します。
Windows Vista/Server 2008 では、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ] を選択します。
Windows XP では、[スタート]- [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート] - [プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では、[スタート]- [設定]- [プリンタ]を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択します。

❸ [ポート]タブの[印刷するポート]で、接続先のポートを下記の設定にします。

USB ケーブルで接続する場合：[USBxxx]

注 [印刷するポート] に [USBxxx] が表示されないときは、プリンタの電源が ON になっていることを確認して USB ケーブルを接続し直し、再度❶～❸を行ってください。

一つのプリンタドライバしかインストールできない場合

2 つ目以降のプリンタドライバをインストールする場合は以下のようにしてください。

❶ セットアッププログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ポートの選択」画面で接続先のポートを「FILE」に設定します。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。
詳細は、「セットアップします」(26 ページ)をご覧ください。

❹ [プリンタ] フォルダ(Windows XP/Server 2003 では [プリンタと FAX] フォルダ)で 2 つ目以降のプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❺ [ポート] タブの [印刷するポート] で [USBxxx] にチェックを付けます。

セットアッププログラムで「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合

プラグアンドプレイでセットアップする必要があります。以下の手順でセットアップを行ってください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ USB ケーブルを接続します。

❸ プリンタの電源を ON にします。

❹ Windows を起動します。

❺「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されたら、以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「CD1 ソフトウェア CD」内の「README.TXT」をご覧ください。

USB 接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
コンピュータが USB インタフェースに対応していません。	デバイスマネージャで USB コントローラが表示されるか確認してください。
USB ケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USB ケーブルが外れています。	USB ケーブルを差し込んでください。
USB ケーブルに問題があります。	予備の USB ケーブルがあれば取り替えてみてください。
USB ハブを使用しています。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に［検索場所の指定］、［場所の指定］が表示されます。	「CD1 ソフトウェア CD」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例：Windows 7/Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000 の場合 「E:¥Drivers¥JPN¥WinXP2k」 Windows 7（64bit版）/Server 2008R2/Vista（64bit版）/Server 2008（64bit版）/ XP（x64版）/ Server 2003（x64版）の場合 「E:¥Drivers¥JPN¥WinXP64」 （ここでは CD-ROM ドライブが E：の場合を例にしています）
セットアップを中断しました。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。

Macintosh, UNIX, Linux をお使いの方

1 ネットワーク接続でMacintoshにセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

MacOS 9.2、9.2.1、9.2.2、日本語版が動作するMacintoshでEtherTalk対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合もあります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。
- Mac OS X Classic 環境には対応していません。

ケーブルを接続します

プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル(カテゴリ5e以上、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

メモ

電源の切り方はプリンタ機能編の「電源を切る」をご覧ください。

手順（1から3まであります。）

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

2 プリンタとMacintoshの電源をOFFにします。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

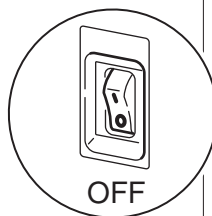
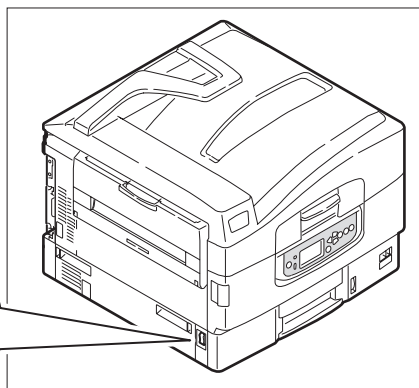
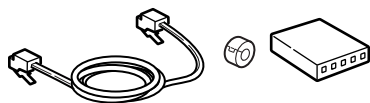
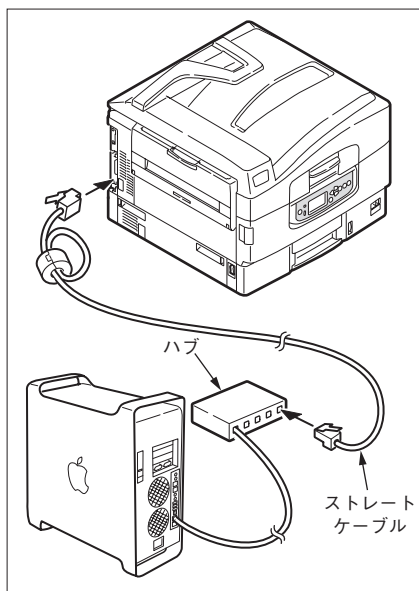
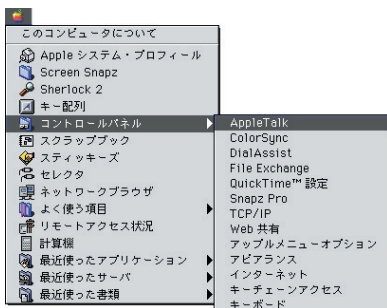
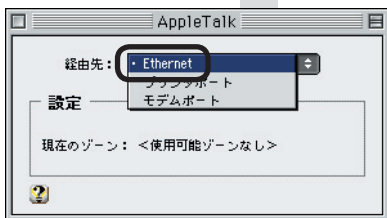
❷ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

セットアップします

以下の説明は、MacOS 9.2.2 を例にしています。

1 プリンタの電源を ON にします。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintosh を起動します。

❷［アップルメニュー］-［コントロールパネル］-［AppleTalk］を選択します。

❸［Ethernet］を選択し、［AppleTalk］を閉じます。

❹「設定の保存」画面が表示されたら、［保存］をクリックします。

3 プリンタドライバをインストールします。

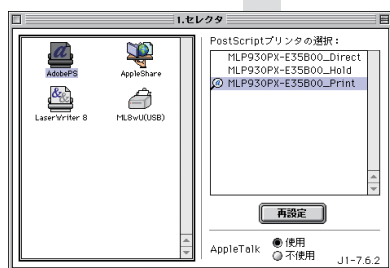
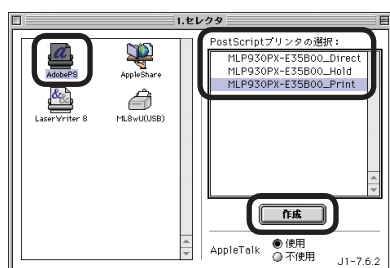
- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintosh がハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ①［アップルメニュー］-［コントロールパネル］-［機能拡張マネージャ］を選択します。
  ②［セット］を［Mac OS x.x.x 基本］（x.x.x は Mac OS のバージョン）設定にします。
  ③ Macintosh を再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、［機能拡張マネージャ］の［セット］を元の設定に戻して、Macintosh を再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、［省略時セット］を選択してください。

❶「CD1 ソフトウェア CD」をセットします。

❷［Driver］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 デスクトップ・プリンタを作成します。

❶［アップルメニュー］の［セレクタ］を選択します。

❷［AdobePS］をクリックし、［PostScriptプリンタの選択］で[ML930Pm-nnnnnn_queuename]（mはX/Sのいずれか、nnnnnnは製品固有の番号､queuenameは接続タイプ（キュー））を選択します。

メモ　プリンタ名の後端の[_Print]、[_Direct]、[_Hold]は接続タイプ（キュー）の種類をあらわします。通常は[_Print]（印刷キュー）を選択します。接続タイプ（キュー）についての詳細は「設定管理ガイド：プリント接続」をご覧ください。

・[_Print]　印刷キュー
・[_Direct]　直接接続
・[_Hold]　待機キュー

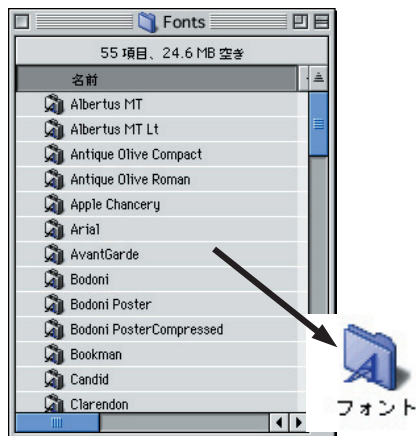
❸［作成］をクリックします。

プリンタ名の横にアイコンが表示されます。

プリンタ名は、MicrolinePS Utilityで変えることができます。

❹［セレクタ］を閉じます。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

5 欧文スクリーンフォントをインストールします。

❶「CD1 ソフトウェア CD」をセットします。

❷［Font：OS9］フォルダを開きます。

❸以下に示す各スクリーンフォント用のインストーラをダブルクリックし、表示された指示に従ってインストールします。

- Fonts
  欧文スクリーンフォントをインストールします。
- 和文スクリーンフォント（5）（ML Pro 930PS-X または -S の場合）
  モリサワスクリーンフォント（L リュウミン L-KL/M 中ゴシック BBB/B 太ミン A101/B 太ゴ B101/L じゅん 101）をインストールします。
- 平成和文スクリーンフォント（2）（ML Pro 930PS-E の場合）
  平成スクリーンフォント（平成明朝 W3/ 平成角ゴシック W5）をインストールします。

注

- システムに負荷がかかりますので、使用するフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。

❹Macintosh を再起動します。

これで完了です。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- LINK 100M ランプ（緑）/LINK 10M ランプ（緑）を確認します。100BASE-TX/10BASE-T で接続している場合にそれぞれ点灯します。（1000BASE-T で接続している場合には、両方とも点灯します。）点灯しない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUS ランプ（橙）を確認します。データを受信しているときに点滅します。「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブの LINK ランプが点灯しません。
- Ping に応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源が ON になっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源を ON にします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源を ON にするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「ハブとの接続」を「10BASE-T HALF」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ 電源スイッチのオン（I）を押します。

❷ 操作パネルに［印刷できます］と表示したことを確認します。

❸ ▽ ボタンを数回押し、［管理者用メニュー］を選択し、〇 設定ボタンを押します。

❹ パスワード入力画面になるので、△ ボタンまたは ▽ ボタンで 1 桁目の英数字を選択し、〇 設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

最後に 〇 設定ボタンを押します。

❺ △ ボタンまたは ▽ ボタンを押して［ネットワーク設定］を選択し、〇 設定ボタンを押します。

❻ ▽ ボタンを数回押して［ハブとの接続］を選択し、〇 設定ボタンを押します。

❼［10Base-T Half］を選択し、〇 設定ボタンを押します。

❽ 〇 オンラインボタンを押します。

［印刷できます］と表示されたら完了です。

- ハブの動作モード（1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、全二重 / 半二重）を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。（設定方法はハブに付属のマニュアルをご覧ください。）

それでも問題が解決しない場合

- ［アップルメニュー］-［セレクタ］で、「AdobePS」をクリックしたとき「プリンタ名」が表示されるか確認します。プリンタ名の初期値は「MICROLINE Pro930PS」です。プリンタ名はネットワークの設定情報(Network Information)に表示されている[EtherTalk Configuration]の[Printer Name］です。

- Windows 2000 の AppleTalk 接続について
  Windows 2000 Professional、Windows 2000 Server で、プリンタを AppleTalk 接続にすると、Macintosh からプリンタが見えなくなる場合があります。その場合は次の手順に従って Windows 2000 の設定を変更してください。

  ❶ プリンタウィンドウを開きます。

  ❷ AppleTalk 接続しているプリンタのプロパティを開きます。

  ❸［ポート］タブの［ポートの構成］をクリックします。

  ❹［AppleTalk 印刷装置の確保］のチェックを外し［OK］をクリックします。

  ❺ 以上の設定をすべての Windows 2000 で行います。

  ［AppleTalk 印刷装置の確保］のチェックを付けると、AppleTalk 接続されたプリンタを Windows 2000 で独占して使用する状態になります。この設定にすると、Windows 2000 から、プリンタを Macintosh から見えなくするためのコマンドが送られ、Macintosh からプリンタが見えなくなります。

2 USB 接続で Macintosh にセットアップします

動作環境

MacOS 9.2、9.2.1、9.2.2 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- USB 拡張ボードには対応していません。
- USB ケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
- 他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、デスクトップ・プリンタ Utility に「****」、「**** 1」、「**** 2」(**** はプリンタ機種名)と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- USB ハブをご使用になる場合は、コンピュータと直接接続された USB ハブに接続してください。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合があります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。
- Mac OS X Classic 環境には対応していません。
- プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

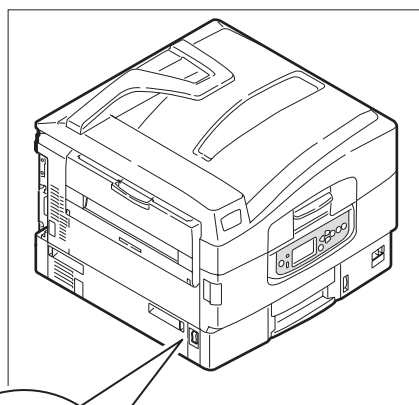
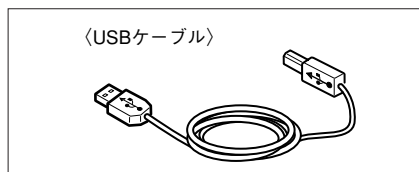
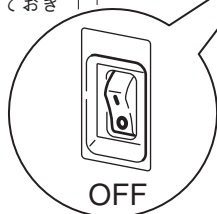
メモ USB インタフェースケーブルは、USB2.0 仕様で長さ 5m 以内(2m 以内を推奨)のものをお使いください。

ケーブルを接続します

注

USB ケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様の USB ケーブルを別途用意してください。

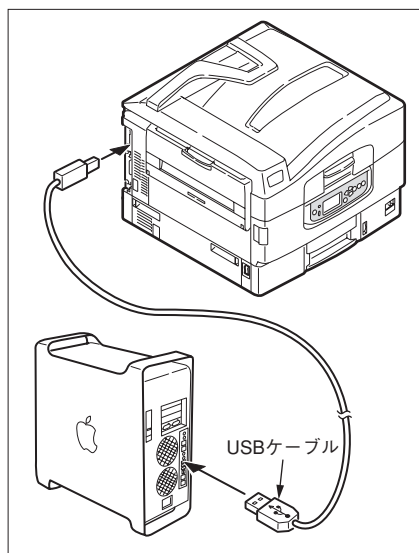
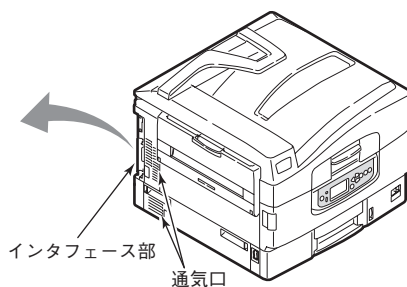
メモ

- 電源の切り方はプリンタ機能編の「電源を切る」をご覧ください。
- USB ケーブルはコンピュータ、プリンタの電源が ON の状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USB ドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源を OFF にしておきます。

手順（1から3まであります。）

1 USBケーブルを準備します。

2 プリンタとMacintoshの電源をOFFにします。

3 USBケーブルを接続します。

注

USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❶ USB ケーブルをプリンタの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

❷ USB ケーブルを Macintosh の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします

以下の説明は、MacOS 9.2.2 を例にしています。

1 プリンタの電源を ON にします。

2 Macintosh を起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintosh がハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ①［アップルメニュー］-［コントロールパネル］-［機能拡張マネージャ］を選択します。
  ②［セット］を［Mac OS x.x.x 基本］（x.x.x は Mac OS のバージョン）設定にします。
  ③ Macintosh を再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、［機能拡張マネージャ］の［セット］を元の設定に戻して、Macintosh を再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、［省略時セット］を選択してください。

❶「CD1 ソフトウェア CD」をセットします。

❷［Driver］フォルダを開きます。

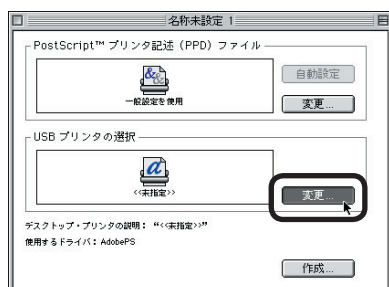
❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 デスクトップ・プリンタを作成します。

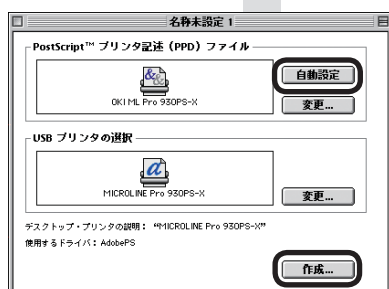
デスクトップ・プリンタ Utility

❶［Application（Mac OS9）］-［ユーティリティ］フォルダ内の［デスクトップ・プリンタ Utility］をダブルクリックします。

❷［プリンタ］で［AdobePS］を、［デスクトップに作成］で［プリンタ（USB）］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［USB プリンタの選択］の［変更］をクリックします。

❹［USB プリンタの選択］で［MICROLINE Pro 930PS-X（または -S または -E）］を選択し、［OK］をクリックします。

注

［USB プリンタの選択］で［MICROLINE Pro 930PS-X(または -S または -E)］が表示されない場合には、Macintosh とプリンタが正しく接続されていない可能性があります。ケーブルのコネクタが正しく差し込まれているか、ケーブルが傷ついていないか、確認してください。

❺［PostScript プリンタ記述（PPD）ファイル］で［自動設定］をクリックします。

❻［作成］をクリックします。

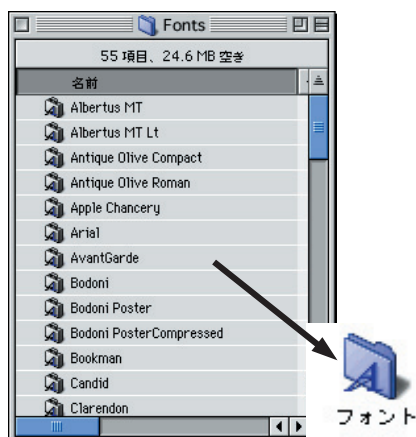
❼［デスクトップ・プリンタの保存名］を入力し、［保存］をクリックします。

❽ デスクトップ・プリンタ Utility を終了します。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

メモ

USB インタフェースで接続する場合は、「セレクタ」画面で「AdobePS」を選択しても、画面の右側にプリンタ名は表示されません。プリンタを選択するときはデスクトップ上に作成されたプリンタアイコンを選択して、「Finder」の［プリンタ］メニューで［省略時プリンタに指定］を選択して使用します。

5 欧文スクリーンフォントをインストールします。

❶「CD1 ソフトウェア CD」をセットします。

❷［Font：OS9］フォルダを開きます。

❸ 以下に示す各スクリーンフォント用のインストーラをダブルクリックし、表示された指示に従ってインストールします。

- Fonts
  欧文スクリーンフォントをインストールします。
- 和文スクリーンフォント（5）（ML Pro 930PS-X または -S の場合）
  モリサワスクリーンフォント（L リュウミン L-KL/M 中ゴシック BBB/B 太ミン A101/B 太ゴ B101/L じゅん 101）をインストールします。
- 平成和文スクリーンフォント（2）（ML Pro 930PS-E の場合）
  平成スクリーンフォント（平成明朝 W3/ 平成角ゴシック W5）をインストールします。

注

- システムに負荷がかかりますので、使用するフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。

❹ Macintosh を再起動します。

これで完了です。

USB 接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
MacOS のバージョンが対応していません。	MLPro930PS が対応しているのは MacOS9.2 以降です。（42 ページ）
USB ケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USB ケーブルを短時間で抜き差ししています。	USB ケーブルを抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
USB ケーブルが外れています。	USB ケーブルを差し込んでください。
USB ケーブルに問題があります。	予備の USB ケーブルがあれば取り替えてみてください。
USB ハブを使用しています。	プリンタと Macintosh を直接つないでみてください。
セットアップを中断しました。	もう一度初めからセットアップしてください。（44 ページ）
プリンタの電源スイッチが OFF になっています。	プリンタの電源を ON にしてください。 詳しくはプリンタ機能編の「電源を入れる」をご覧ください。
デスクトッププリンタアイコンに手のマークがついています。	Macintosh のプリンタメニューの［プリントキューの開始］を選択してください。
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。（44 ページ）
［オフライン］になっています。	「オンライン」ボタンを押して、［オンライン］にしてください。

3 ネットワーク接続で Mac OS X にセットアップします

動作環境

Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6 日本語版が動作する Macintosh でネットワークインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- OCF や CID ビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS X のアプリケーションで表示される、細明朝体（SaiMincho）、中ゴシック（ChuGothic）はビットマップで印刷されます。
- 文字の黒色がコンポジット（CMYK 混合色）で印刷される場合があります。
- MicrolinePS Utility は Mac OS X では動作しません。
- ブラックオーバープリント、トナー節約モード、CMYK シミュレーションはアプリケーションによっては使用できないことがあります。
- Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

ケーブルを接続します

注

プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル(カテゴリ5e以上、ツイストペアケーブル、ストレート)とハブを別途用意してください。

電源の切り方はプリンタ機能編の「電源を切る」をご覧ください。

手順(1から3まであります。)

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

2 プリンタとMacintoshの電源をOFFにします。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

セットアップします（Mac OS X 10.3.9～10.4.11をお使いの方）

Mac OS X 10.5以降をお使いの方は、「セットアップします（Mac OS X 10.5以降をお使いの方）」（59ページ）をご覧ください。

ネットワーク接続のセットアップについて

Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

1 印刷する方法を決めます。

Mac OS Xから印刷するためには、EtherTalkを使用する方法、Bonjour（ボンジュール）/Rendezvous（ランデブー）を使用する方法の2種類があります。
まず、どちらを利用するか決めます。

印刷する方法	特　長
EtherTalk	Mac OS Xが標準で持っている機能を使用します。
Bonjour（ボンジュール） Rendezvous（ランデブー）	Mac OS X 10.4～（Mac OS X 10.3.9ではRendezvous）が標準で持っている機能を使用します。EtherTalkが使用できないネットワークでは、こちらを使用します。

2 セットアップの流れ

EtherTalk

Macintosh にEther Talkを設定します。

プリンタドライバをインストールします。

ネットワークプリンタを作成します。

「EtherTalkプロトコルを利用します」（53ページ）へ進みます。

Bonjour/Rendezvous

プリンタドライバをインストールします。

ネットワークプリンタを作成します。

「Bonjour（Rendezvous）を利用します」（56ページ）へ進みます。

EtherTalk プロトコルを利用します

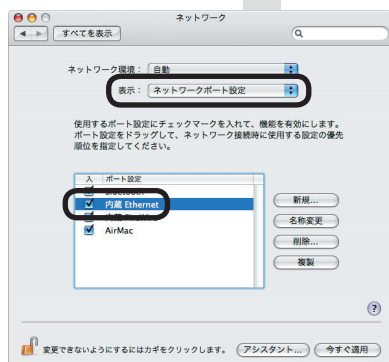
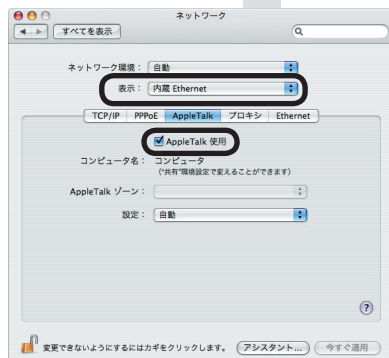
以下の説明は、Mac OS X 10.4 を例にしています。

1 プリンタの電源を ON にします。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintosh を起動します。

❷［システム環境設定］-［ネットワーク］を選択します。

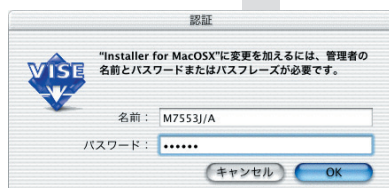
❸［表示］-［ネットワークポート設定］を選択し、［内蔵 Ethernet］にチェックがついていることを確認します。

❹［表示］-［内蔵 Ethernet］-［AppleTalk］タブを選択し、［AppleTalk 使用］にチェックがついていることを確認します。

3 プリンタドライバをインストールします。

ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「CD1 ソフトウェア CD」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver：OS X：10.4］（OS X 10.3.9 では［Driver：OSX：10.3_10.5］）フォルダ内の［OSX installer］をダブルクリックします。

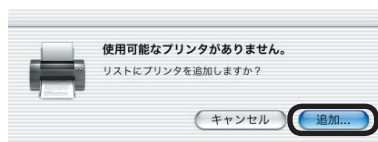
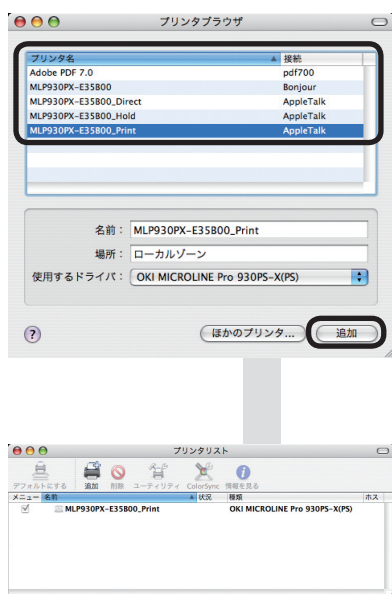
❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

プリンタ設定ユーティリティが起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷［追加］をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

❸ Mac OS X 10.3.9 では［AppleTalk］を選択します。

❹ プリンタ名を選択し、［追加］をクリックします。

❺ ［ML930Pm-nnnnnn_queuename］（m は X/S のいずれか、nnnnnn は製品固有の番号、queuename は接続タイプ（キュー））を選択します。

メモ プリンタ名の後端の [_Print]、[_Direct]、[_Hold] は接続タイプ（キュー）の種類をあらわします。通常は [_Print]（印刷キュー）を選択します。接続タイプ（キュー）についての詳細は Fiery 編「4 章 設定管理：プリント接続」をご覧ください。

- [_Print]　印刷キュー
- [_Direct]　直接接続
- [_Hold]　待機キュー

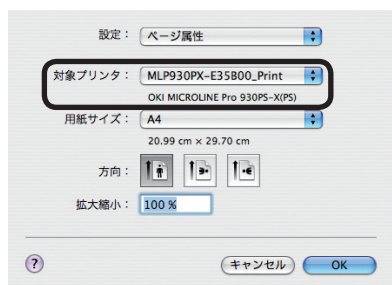
❻ ［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

5 設定を確認します。

❶ テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸ ［対象プリンタ］で追加したプリンタ名を選択します。

❹ ［対象プリンタ］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

Bonjour（Rendezvous）を利用します

1 プリンタの電源を ON にします。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintosh を起動します。

❷［システム環境設定］-［ネットワーク］を選択します。

❸［表示］-［ネットワークポート設定］を選択し、［内蔵 Ethernet］にチェックがついていることを確認します。

3 プリンタドライバをインストールします。

ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「CD1 ソフトウェア CD」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver：OSX：10.4］（OS X 10.3.9 では［Driver：OSX：10.3_10.5］）フォルダ内の［OSX installer］をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

プリンタ設定ユーティリティが起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

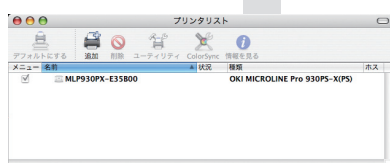
❷［追加］をクリックします。

新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

❸ Bonjour（Mac OS X 10.3.9 では［Rendezvous］）を選択します。

❹ プリンタ名を選択し（Mac OS X 10.3.9 では、［プリンタの種類］で［Oki］を選択し、機種名のリストから使用するプリンタ名を選択します）、［追加］をクリックします。

メモ

・プリンタ名は「OKI MICROLINE Pro 930PS」+「固有の製品番号」です。

❺［プリンタブラウザ］でインストール可能なオプション（装着済みの増設オプション）を設定し、［続ける］をクリックします。

❻［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

5 設定を確認します。

❶テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❷［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸［対象プリンタ］で追加したプリンタ名を選択します。

❹［対象プリンタ］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

注　プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

セットアップします（Mac OS X 10.5 以降をお使いの方）

プリンタドライバをインストールします

メモ　Mac OS X 10.3.9～10.4.11 をお使いの方は、「セットアップします（Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 をお使いの方）」（52 ページ）をご覧ください。

ウィルス防御ソフトウエアは OFF にしてください。

❶「CD1 ソフトウエア CD」を Macintosh にセットします。

❷ [OKI] アイコンをダブルクリックします。

❸ [Driver：OSX：10.3_10.5]（OS X 10.6 以降では [Driver：OSX：10.6]）フォルダ内の [OSX installer] をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

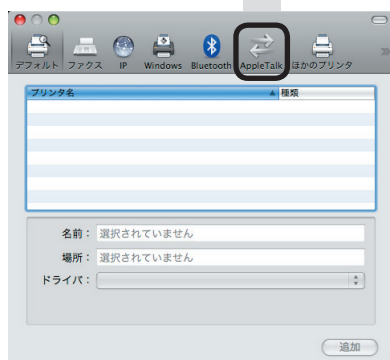
OS X 10.6 以降では続けて [Fiery Printer Driver update for OS X v10.6] をダブルクリックします。

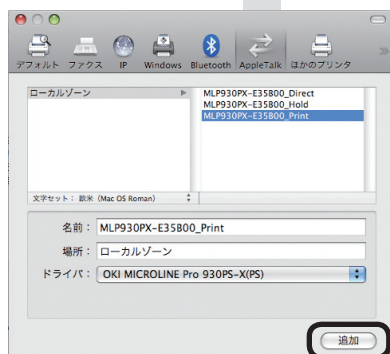
EtherTalk プロトコルを利用してプリンタの設定をします

Bonjour をご利用の方は、「Bonjour を利用してプリンタの設定をします 」（61 ページ）をご覧ください。

- ［プリンタとファクス］が既に開いている場合は、X をクリックして閉じてください。
- OS X 10.6 以降では Apple Talk は選択できません。

❶ [アップルメニュー] - [システム環境設定] を選択します。

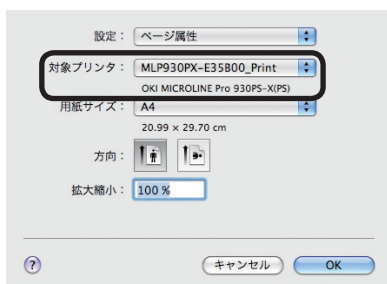
❷ [プリントとファクス] をクリックします。

❸ [+] をクリックします。

❹ [AppleTalk] をクリックします。最初に設定する場合、プリンタが表示されるまでにしばらく時間がかかります。

❺ プリンタを選択し、[ドライバ] メニューに正しい機種名が表示されたら、[追加] をクリックします。

❻ プリンタリストに追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、[プリントとファクス] を閉じます。

❼ 設定を確認するため、テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❽ [ファイル] - [ページ設定] を開きます。

❾ [対象プリンタ] で追加したプリンタ名を選択します。

❿［対象プリンタ］のメニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

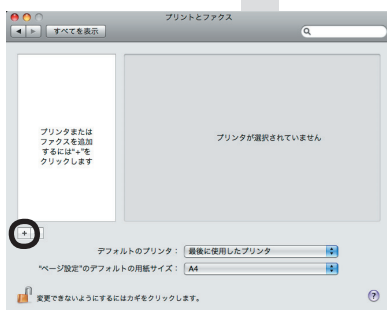
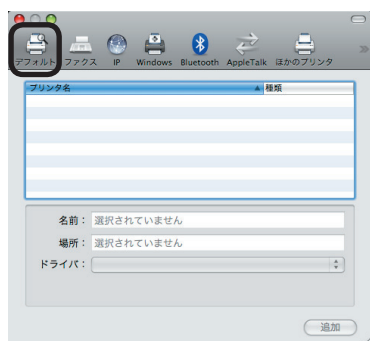
プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリントとファクス］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを登録してください。

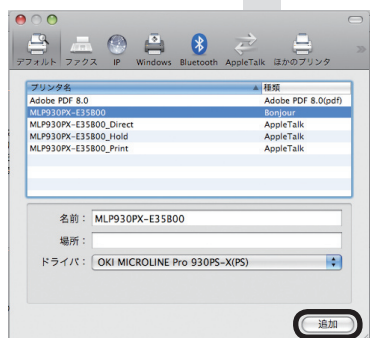
Bonjour を利用してプリンタの設定をします

メモ EtherTalk プロトコル接続の方は、「EtherTalk プロトコルを利用してプリンタの設定をします」（57 ページ）をご覧ください。

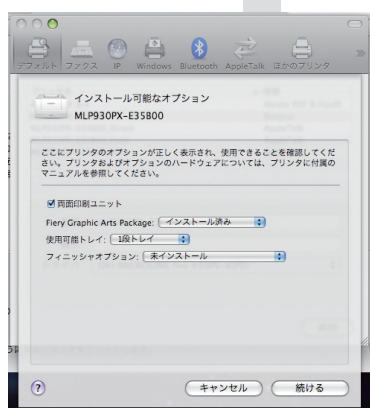
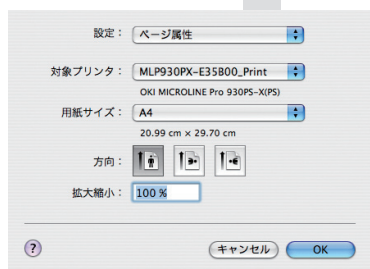
注 ［プリントとファクス］が開いている場合は、X をクリックして閉じてください。

❶［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択します。

❷［プリントとファクス］をクリックします。

❸［+］をクリックします。

❹［デフォルト］をクリックします。

❺プリンタ名が表示されたら、［種類］に接続したいポート名が表示されていることを確認します。

❻プリンタを選択し、［ドライバ］メニューに正しい機種名が表示されたら、［追加］をクリックします。

メモ
Bonjour 接続の場合、プリンタ名は［OKI MICROLINE Pro930PS］＋［MAC Address の英数字下 6 桁］です。

❼［プリンタブラウザ］でインストール可能なオプション（装着済みの増設オプション）を設定し、［続ける］をクリックします。

❽プリンタリストに追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタとファクス］を閉じます。

❾設定を確認するため、テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❿［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

⓫［対象プリンタ］で追加したプリンタ名を選択します。

⓬［対象プリンタ］のメニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリントとファクス］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを登録してください。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- LINK 100M ランプ（緑）/LINK 10M ランプ（緑）を確認します。100BASE-TX/10BASE-T で接続している場合にそれぞれ点灯します。（1000BASE-T で接続している場合には、両方とも点灯します）点灯していない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUS ランプ（橙）を確認します。データを受信しているときに点滅します。「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブの LINK ランプが点灯しません。
- Ping に応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源が ON になっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源を ON にします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源を ON にするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「ハブとの接続」を「10BASE-T HALF」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ 電源スイッチのオン（I）を押します。

❷ 操作パネルに［印刷できます］と表示したことを確認します。

❸ ▽ ボタンを数回押し、［管理者用メニュー］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❹ パスワード入力画面になるので、△ ボタンまたは ▽ ボタンで 1 桁目の英数字を選択し、◯ 設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。

メモ　パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

最後に ◯ 設定ボタンを押します。

❺ △ ボタンまたは ▽ ボタンを押して［ネットワーク設定］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❻ ▽ ボタンを数回押して［ハブとの接続］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❼ ［10Base-T Half］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❽ ◯ オンラインボタンを押します。

［印刷できます］と表示されたら完了です。

- ハブの動作モード（1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、全二重 / 半二重）を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。（設定方法はハブに付属のマニュアルをご覧ください。）

それでも問題が解決しない場合

- [アップルメニュー] - [システム環境設定] - [インターネットとネットワーク] - [ネットワーク] - [表示] - [ネットワークポート設定] で [内蔵 Ethernet] にチェックがついていることを確認します。
- [表示] - [内蔵 Ethernet] - [AppleTalk] で [AppleTalk 使用] にチェックがついていることを確認します。
- ハードディスクの [アプリケーション] - [ユーティリティ] - [プリンタ設定ユーティリティ] で、[追加] をクリックし、[AppleTalk] を選択したときに [MICROLINE Pro930PS-X(または -S または -E)] が表示されるか確認します。

4 USB 接続で Mac OS X にセットアップします

動作環境

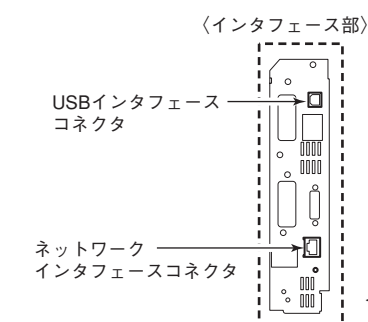
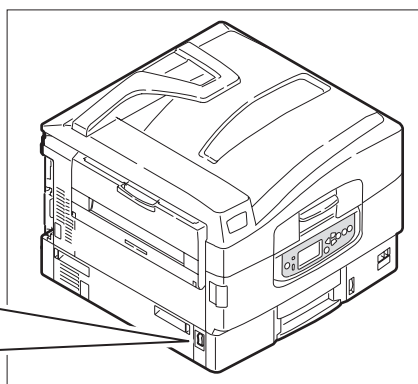
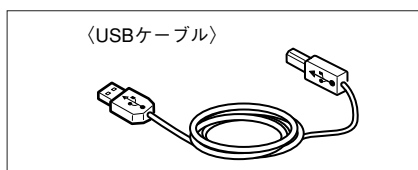
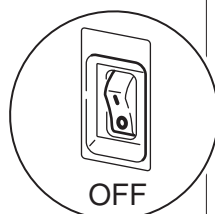
Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- OCF や CID ビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS X のアプリケーションで表示される、細明朝体（SaiMincho）、中ゴシック（ChuGothic）はビットマップで印刷されます。
- 文字の黒色がコンポジット（CMYK 混合色）で印刷される場合があります。
- MicrolinePS Utility は Mac OS X では動作しません。
- Classic 環境が動作しているときは、Mac OS X からの印刷ができません。Classic 環境を終了させてから印刷してください。
- ブラックオーバープリント、トナー節約モード、CMYK シミュレーションはアプリケーションによっては使用できないことがあります。
- Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

USB インタフェースケーブルは、USB2.0 仕様で長さ 5m 以内（2m 以内を推奨）のものをお使いください。

ケーブルを接続します

USBケーブルは添付されていません。USB2.0仕様のUSBケーブルを別途用意してください。

電源の切り方はプリンタ機能編の「電源を切る」をご覧ください。

USBケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

手順（1から3まであります。）

1 USBケーブルを準備します。

2 プリンタとMacintoshの電源をOFFにします。

3 USBケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ USBケーブルをMacintoshのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします（Mac OS X 10.3.9～10.4.11 をお使いの方）

1 プリンタドライバをインストールします。

Mac OS X 10.5 以降をお使いの方は、「セットアップします（Mac OS X 10.5 以降をお使いの方）」（70 ページ）をご覧ください。

ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「CD1 ソフトウェア CD」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver：OS X：10.4］（OS X 10.3.9 では［Driver：OSX：10.3_10.5］）フォルダ内の［OSX installer］をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

2 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

プリンタ設定ユーティリティが起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

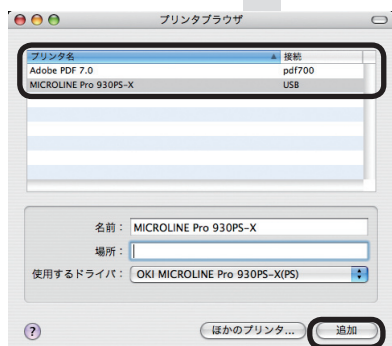
❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷［追加］をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

注 インストールしようとしているプリンタの名前がすでに表示されている場合は、プリンタ名を選択して［削除］をクリックします。

❸ プリンタのリストを表示します。

Mac OS X 10.3.9 では［USB］を選択します。

❹ 使用するプリンタを選択します。

［接続］に［USB］（Mac OS X 10.3.9 では［種類］に［OKI DATA CORP］）と表示されている機種名リストから使用するプリンタを選択し、［追加］をクリックします。

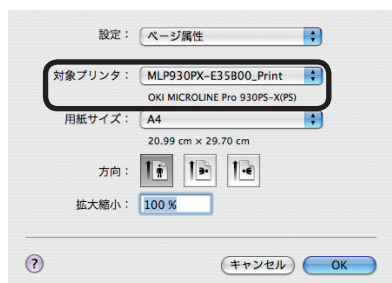
❺［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

3 設定を確認します。

❶ テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❷［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸［対象プリンタ］で追加したプリンタ名を選択します。

❹［対象プリンタ］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

プリンタドライバをインストールします

Mac OS X 10.3.9～10.4.11 をお使いの方は、「セットアップします(Mac OS X 10.3.9～10.4.11 をお使いの方)」(68 ページ)をご覧ください。

ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「CD1 ソフトウエア CD」を Macintosh にセットします。

❷ [OKI] アイコンをダブルクリックします。

❸ [Driver：OSX：10.3_10.5]（10.6 以降では [Driver：OSX：10.6]）フォルダ内の [OSX installer] をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

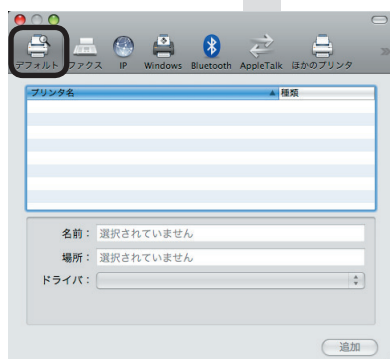
画面に従い、インストールを行ないます。

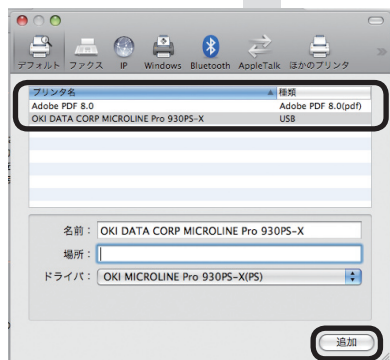
OS X 10.6 以降では [Fiery Printer Driver Update for OS X v10.6] をダブルクリックします。

USB 接続でプリンタの設定をします

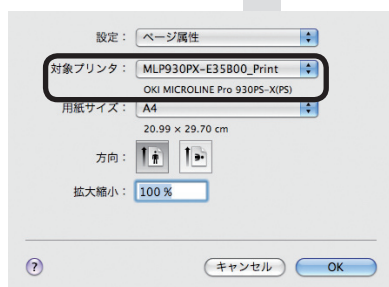
[プリントとファクス] が開いている場合は、X をクリックして閉じてください。

❶ [アップルメニュー] - [システム環境設定] を選択します。

❷ [プリントとファクス] をクリックします。

❸ [+] をクリックします。

❹［デフォルト］をクリックします。

❺ プリンタ名が表示されたら、［種類］に接続したいポート名が表示されていることを確認します。

❻ プリンタを選択し、［ドライバ］メニューに正しい機種名が表示されたら、［追加］をクリックします。

❼ インストール可能なオプションの取得画面で、［構成 ...］をクリックしてプリンタオプションを選択します。

❽ プリンタリストに追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタとファクス］を閉じます。

❾ プリンタを再起動します。

❿ 設定を確認するため、テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

⓫［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

⓬［対象プリンタ］で追加したプリンタ名を選択します。

⓭［対象プリンタ］のメニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリントとファクス］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを登録してください。

USB 接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
USB ケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USB ケーブルを短時間で抜き差ししています。	USB ケーブルを抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
USB ケーブルが外れています。	USB ケーブルを差し込んでください。
USB ケーブルに問題があります。	予備の USB ケーブルがあれば取り替えてみてください。
USB ハブを使用しています。	プリンタと Macintosh を直接接続してみてください。
セットアップを中断しました。	もう一度初めからセットアップしてください。（68, 70 ページ）
プリンタの電源スイッチが OFF になっています。	プリンタの電源を ON にしてください。 詳しくは、プリンタ機能編の「電源を入れる」をご覧ください。
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。（68, 70 ページ）
［オフライン］になっています。	「オンライン」ボタンを押して、［オンライン］にしてください。

5 UNIX、Linuxをお使いの方

MUPS を利用して印刷します

MUPS とは、MICROLINE UNIX Printing System の略で、UNIX/Linux プラットホームに快適な印刷環境を提供するグラフィカルなインタフェースを持ったソフトウェアです。MUPS は、ESP Print Pro および CUPS (Common UNIX Printing System) を基にしたソフトウェアです。

MUPS の詳細と入手方法は、沖データのホームページ（http://www.okidata.co.jp/）をご覧ください。

LPD プロトコルを利用して印刷します

TCP/IP の LPD プロトコル（lpr, lp コマンド）を使用して印刷する方法を説明します。lpr, lp コマンドの詳細は UNIX のマニュアルをご覧ください。

LPD について

LPD（Line Printer Daemon）はネットワーク上のプリンタに印刷するためのプロトコルです。

論理プリンタについて

本プリンタには 3 つの論理プリンタがあります。

sjis, euc はポストスクリプトプリンタのみの機能です。

論理プリンタ	機　能
lp	PostScript または PCL 形式のファイルを印刷する場合
sjis	シフト JIS 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合
euc	EUC 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　　　：ML Pro 930PS
IP アドレス　　：192.168.0.2
MAC アドレス　：00:80:87:84:9C:9B

メモ
MAC アドレスは、ネットワーク設定情報に印刷されています。
プリンタ機能編の「ネットワークの設定情報を印刷する」をご覧ください。

UNIX を設定し印刷します

Sun Solaris2.6 および 8 の場合

- スーパーユーザーの権限が必要です。
- OpenWindows 上より Admintool を使ってリモートプリンタを登録する方法は、出力先とキューの名称が同一になるため本プリンタでは利用できません。リモートプリンタの登録は以下の方法で行ってください。
- Solaris 2.x はシステムの仕様上、リモートプリンタとの接続が長時間滞った場合にエラーとみなし、強制切断するようになっています。従って、印刷中に用紙切れやオフラインなどのエラーによって待ち時間が発生した場合には印刷が打ち切られてしまいます。

❶ UNIX に管理者（root）でログインします。

❷ /etc/hosts ファイルにプリンタの IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ プリントサーバを登録します。

「：」に続く「lp」が論理プリンタになります。

```
# lpadmin -p ML_lp -m netstandard -o protocol=bsd -o dest=ML:lp -v /dev/null
```

メモ　印刷するファイル形式によりプリンタタイプやファイル内容形式を設定する必要があります。詳細は OS 付属のマニュアルを参照ください。

❺ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/sbin/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❻ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp〈ファイル名〉
```

漢字コードのテキストファイルを印刷する場合は次のように指定します。

論理プリンタ sjis に印刷する場合

```
# lp -d ML:sjis〈ファイル名〉
```

論理プリンタ euc に印刷する場合

```
# lp -d ML:euc〈ファイル名〉
```

メモ

バナーページが不要な場合は以下のコマンドを使用します。

```
# lp -d ML_lp -o nobanner
```

❼ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp-〈ジョブ番号〉
```

❽ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIX の仕様により正常に表示できない場合があります。

HP-UX9.X および 10.X の場合

- スーパーユーザーの権限が必要です。
- HP-UX9.03 を例にしています。

❶ UNIX に管理者（root）でログインします。

❷ /etc/hosts ファイルにプリンタの IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ 使用している HP-UX マシンに、リモートスプーラが設定されていないときは以下の設定を行ってください。

① プリンタスプーラを停止します。

```
#/usr/lib/lpshut
```

② /etc/inetd.conf ファイルに以下の行を追加し、リモートスプーラを登録します。

```
printer stream tcp nowait root /usr/lib/rlpdaemon -i
```

③ inetd を再起動します。

```
#/etc/inetd -c
```

❺ プリントキューを設定します。

「-p」に続く「ML_lp」がプリントキュー名、「-orm」に続く「ML」がホスト名、「-orp」に続く「lp」が論理プリンタ名になります。

```
#/usr/lib/lpadmin -pML_lp -mrmodel -ormML -orplp -ocmrcmodel -osmrsmodel -ob3 -v/dev/null
```

❻ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/lib/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❼ プリンタスプーラを起動します。

```
#/usr/lib/lpsched
```

❽ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp 〈ファイル名〉
```

❾ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp- 〈ジョブ番号〉
```

❿ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIX の仕様により正常に表示できない場合があります。

FTP プロトコルを利用して印刷します

TCP/IP の FTP プロトコル（ftp コマンド）を使用して印刷する方法を説明します。ftp コマンドの詳細は UNIX のマニュアルをご覧ください。

FTP サービスは、工場出荷時の設定では無効になっています。有効にするには、操作パネルもしくは WebTools で設定します。
操作パネルの管理者用メニュー→ネットワーク設定→サービス設定→［FTP 設定］で［はい］を設定します。
もしくは WebTools →設定→ネットワークサービス設定→［FTP 印刷を使用する］で［はい］を設定します。

FTP について

FTP（File Transfer Protocol）はネットワーク上のホストにファイルを転送するためのプロトコルです。

論理ディレクトリについて

本プリンタには 3 つの論理ディレクトリがあります。

sjis, euc はポストスクリプトプリンタのみの機能です。

論理プリンタ	機　能
/lp	PostScript または PCL 形式のファイルを印刷する場合
/sjis	シフト JIS 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合
/euc	EUC 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　：ML Pro 930PS
IP アドレス　：192.168.0.2
MAC アドレス　：00:80:87:84:9C:9B

MAC アドレスは、ネットワーク設定情報に印刷されています。
プリンタ機能編の「プリンタの設定を印刷する」をご覧ください。

印刷します

❶ プリンタにログインします。

「Name」と「Password」に入力する必要があります。出荷時のデフォルトは以下の通りです。

「Name」(ユーザ名):admin または operator または guest
「Password」(パスワード):なし

```
#ftp 192.168.0.2
Connected to 192.168.0.2
220 EFI FTP Print server ready
User(192.168.0.2:(name)):admin
331 User name okay; need password.
Password:
230 User logged in, proceed.
ftp>
```

❷ 転送先ディレクトリへ移動します。

ルートディレクトリへのファイル転送はできません。

```
ftp>cd /print
250 Command OK.
ftp>pwd
257"/print" is current directory.
ftp>
```

❸ 転送モードを設定します。

転送モードには、ファイルの内容をそのまま出力する「BINARY モード」と、LF コードを CR+LF コードに変換する「ASCII モード」の 2 種類があります。プリンタドライバで作成したファイルを転送する場合は、「BINARY モード」を使用します。

```
ftp> type binary
200 Command okay.
ftp> type
Using binary mode to transfer files.
ftp>
```

❹ 印刷します。

例 1) 印刷データ「test.prn」を転送する場合

```
ftp> put test.prn
```

例 2) 印刷データを絶対パス「/users/test/test.prn」付きで指定して転送する場合

```
ftp> put /users/test/test.prn
```

❺ ログアウトします。

```
ftp> quit
```

ユーザーサポート

お客様相談センターのご案内

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次ページの「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。なお、内容確認のため、録音をさせていただいております。

お客様相談センター　**0120-654-632**

（携帯電話からは 0570-055-654）

ご注意：ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間　9 : 00 〜 20 : 00 月曜日〜金曜日
9 : 00 〜 17 : 00 土曜日
(ただし 祝日、年末年始等を除く)

※ 月曜日〜金曜日の 17:30 〜 20:00 及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。
※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆沖データ製品のサポートサービスは（株）沖電気カスタマアドテック（OCA）が担当しております。

（個人情報の取り扱いについて）

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a) 当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号など保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。
b) お客様情報を統計的に集計・分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。
c) 予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社の提携会社より、サービス提供 , アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。
d) 裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

— お問い合わせに回答できない場合について —

1. UNIX 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5 プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境

機種名：＿＿＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿＿＿　購入月：＿＿＿年＿＿月

追加オプション：　なし　・　あり（　　　　　　　　）

コンピュータ環境

☐ Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

☐ Mac OS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

接続方法

☐ USB　☐ネットワーク（有線）　☐ネットワーク（無線）　☐ TCP/IP

☐ IPX/SPX　☐ EtherTalk　☐ NetBEUI　☐ Bonjour（Rendezvous）　☐パラレル

☐その他（　　　）

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

アプリケーションソフト

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

使用フォント名：＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）

コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿

プリンタの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿＿＿＿＿

その他

他のアプリケーションからの印刷：☐正常　☐印刷できない

他のコンピュータからの印刷　：☐正常　☐印刷できない

カラーページプリンタ
MICROLINE Pro 930PS-X
MICROLINE Pro 930PS-S
MICROLINE Pro 930PS-E
ユーザーズマニュアル
セットアップ編

発行日　2013年 3月　第 2 版
発行者　株式会社 沖データ

44148202EE

株式会社 沖データ

お客様相談センター

0120-654-632

（携帯電話からは 0570-055-654）

ご注意：ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間 9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（ただし 祝日、年末年始等を除く）

44148202EE Rev2